設置ガイド

5/6/16PoEポートギガビットデスクトップスイッチ

LEDの説明

Power LED

Power
点灯：電源オン
消灯：電源オフ

PoE MAX

PoE Max
TL-SG1005LP
点灯：33W ≤ 総供給電力< 40W
点滅：総供給電力≥ 40W
消灯：総供給電力< 33W

TL-SG1005P
点灯：58W ≤ 総供給電力< 65W
点滅：総供給電力≥ 65W
消灯：総供給電力< 58W

TL-SG1006PP
点灯：57W ≤ 総供給電力< 64W
点滅：総供給電力≥ 64W
消灯：総供給電力< 57W

TL-SG116P
点灯：総供給電力≥ 113W
点滅：総供給電力≥ 113W（この状態が2分以上）
消灯：総供給電力< 113W

Link/Act & PoEステータス LED

点灯（緑）：1000Mbpsでリンクアップ
点灯（黄色）：10/100Mbpsでリンクアップ
点滅：データの送受信中
消灯：該当ポートでリンク未確立

点灯：PoEで給電中
点滅：電流過負荷/ショート
消灯：PoEで給電していない

スイッチの説明

注意：括弧内の数字は、その機能が動作するポートを示します。例えばExtend(1-4) をOnに切り替えると、ポート1-4でExtendモードが有効になります。

Priority（TL-SG116P）

Off：すべてのポートは同じ優先順位でデータを送信します。
On：対応するポートは、他のポートよりも高い優先度でデータを送信します。輻輳が発生すると、優先順位の高いポートが送信するパケットが全帯域を占有します。

Extend（TL-SG1005LP/TL-SG1005P/TL-SG1006PP/TL-SG116P）

Off：対応するポートは10/100/1000Mbpsで動作し、最大100mのPoE給電に対応します。
On：対応するポートは10Mbpsに制限されますが、最大250mのPoE給電に対応します。

注意：TL-SG1005P を例にして説明します。

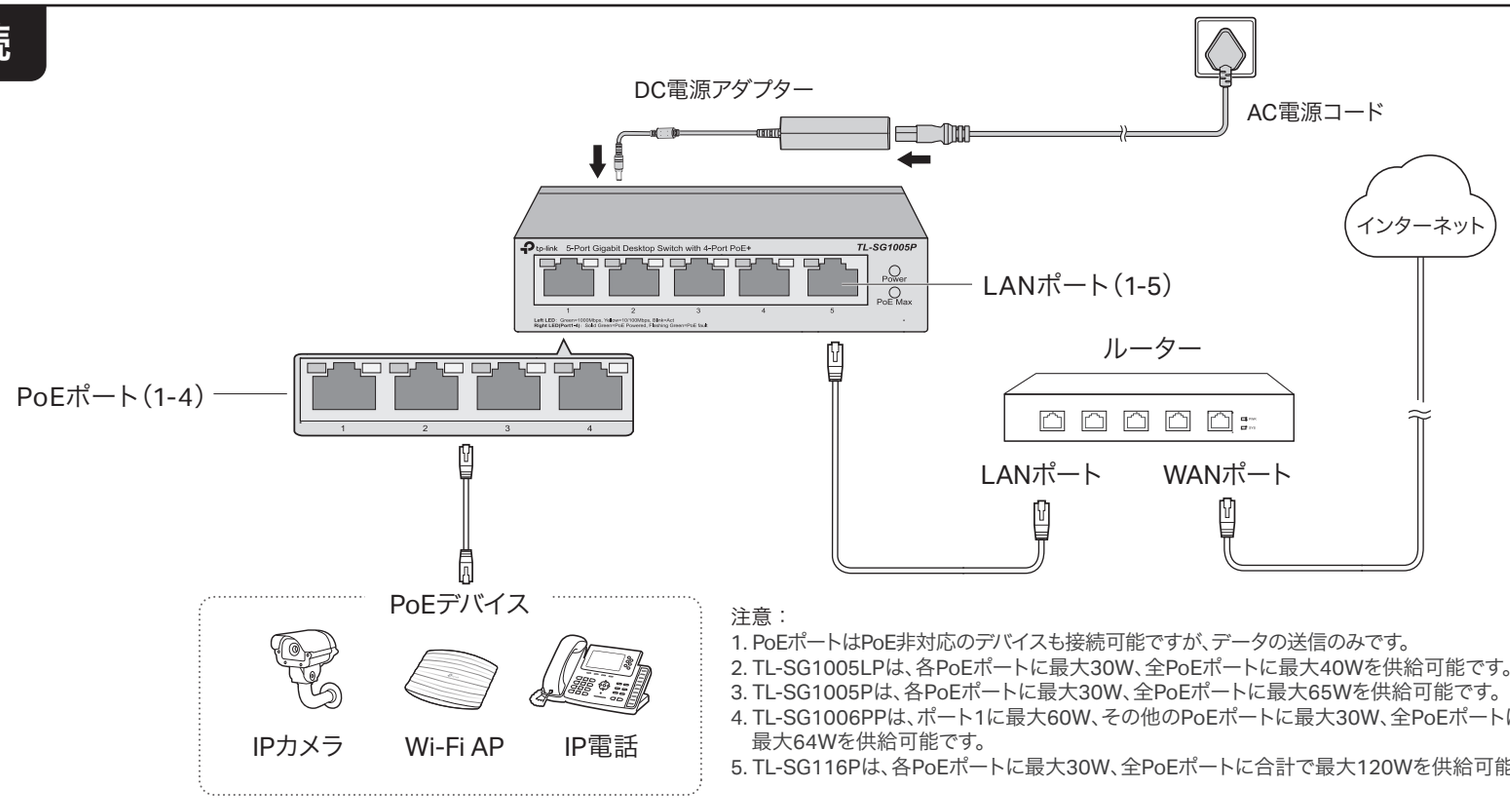
Isolation（TL-SG116P）

Off：ポート間で相互にデータを伝送できます。
On：該当ポートは他のダウンリンクポートとのデータ伝送はできません。アップリンクポート（TL-SG116Pのポート15-16）とのみデータ伝送が可能です。

Recovery（TL-SG1005LP/TL-SG1005P/TL-SG1006PP/TL-SG116P）

Off：PoEオートリカバリー機能がオフです。
On：スイッチはPoE給電デバイス（PD）の動作状態を常時検出し、PDの異常動作を検出すると、PDを再起動します。

接続



注意：
1. PoEポートはPoE非対応のデバイスも接続可能ですが、データの送信のみです。
2. TL-SG1005LPは、各PoEポートに最大30W、全PoEポートに最大40Wを供給可能です。
3. TL-SG1005Pは、各PoEポートに最大30W、全PoEポートに最大65Wを供給可能です。
4. TL-SG1006PPは、ポート1に最大60W、その他のPoEポートに最大30W、全PoEポートに合計で最大64Wを供給可能です。
5. TL-SG116Pは、各PoEポートに最大30W、全PoEポートに合計で最大120Wを供給可能です。

© 2024 TP-Link
7106510983 REV4.3.0

仕様

一般仕様

規格	IEEE802.3i、IEEE802.3u、IEEE802.3ab、IEEE802.3x、IEEE802.3af、IEEE802.3at、IEEE802.3bt（TL-SG1006PPのみ）、IEEE802.1p
インターフェイス	TL-SG1005LP/TL-SG1005P： 10/100/1000Mbps RJ45ポート ×5 Auto-NegotiationMDI/MDIX PoEポート：ポート1-4 TL-SG1006PP： 10/100/1000Mbps RJ45ポート ×6 Auto-NegotiationMDI/MDIX PoEポート：ポート1-4 TL-SG116P： 10/100/1000Mbps RJ45ポート ×16 Auto-NegotiationMDI/MDIX PoEポート：ポート1-16
ネットワークメディア (ケーブル)	10BASE-T：UTPカテゴリ3、4、5ケーブル（最長100m）; EIA/TIA-568 100Ω STP（最長100m） 100BASE-TX：UTPカテゴリ5、5eケーブル（最長100m）; EIA/TIA-568 100Ω STP（最長100m） 1000BASE-T：UTPカテゴリ5eケーブル以上（最長100m）; EIA/TIA-568 100Ω STP（最長100m）
スイッチング容量	10 Gbps (TL-SG1005LP/TL-SG1005P) /12 Gbps (TL-SG1006PP)/ 32 Gbps (TL-SG116P)
転送方式	ストア&フォワード
MACアドレス学習	自動学習、自動エイジング
電源サプライ	外部電源アダプター 入力：100-240VAC、50/60Hz 出力： 53.5VDC /0.81A（TL-SG1005LP） 53.5VDC /1.31A（TL-SG1005P/TL-SG1006PP） 53.5VDC /2.43A（TL-SG116P）
壁掛け	対応
壁掛け穴どうしの距離	39mm（TL-SG1005LP/TL-SG1005P）/94mm（TL-SG1006PP）/ 200mm（TL-SG116P）

よくある質問（FAQ）

Q1. Power LEDが点灯しない場合。

電源システムが通常に動作をしている場合はPower LEDは点灯します。Power LEDが点灯していない場合は、以下のようにトラブルシューティングを行ってください：

A1：電源アダプターがスイッチ本体にしっかりと接続されているかをご確認ください。

A2：付属の電源アダプターを使用しているかをご確認ください。

A3：コンセント等の電源に異常がないかをご確認ください。

Q2.デバイスが接続されているのに対応しているLink/Act LEDが点灯しない場合。

以下をご確認ください：

A1：スイッチとデバイスに正しくケーブルが接続されていることを確認してください。

A2：スイッチに接続されているデバイスの電源が入った状態で正しく動作していることを確認してください。

A3：ケーブルの長さは100m以内の物を使用してください（Extendモードでは250m以内）。

Q3. PoEポートからPoE給電できない場合。

仕様上、接続されているPoE機器の総消費電力が上限を超えた場合、ポート番号の小さいPoEポートを優先し、ポート番号の大きいポートへの電力供給を遮断します。

TL-SG1005Pを例にすると、ポート1・2・4がそれぞれ15.4Wを消費し、ポート3に19Wの追加PoEデバイスが接続されている場合、システムは過負荷を補うためにポート4への給電を停止します。

Q4. PoEオートリカバリー機能の利用に関する注意点

A1：接続されたPoE給電デバイス（PD）をアップグレードする際は、PDの故障を避けるためにPoEオートリカバリーを無効にしてください。

A2：スリープモードのIPカメラのように、PDがスイッチにデータパケットを長期間送信しない場合、PoEオートリカバリーを無効にすることで、PDの頻繁な再起動を回避できます。

安全にご利用いただくために

- このデバイスを火気・水気・高湿の環境から遠ざけてください。
- 分解・修理・改造はしないでください。修理が必要な場合は、当社までご連絡ください。
- デバイスを上下逆さまに設置しないでください。
- 破損した電源アダプター等でデバイスに給電しないでください。
- 付属の電源アダプター以外は使用しないでください。
- 電源アダプターは手の届く範囲に設置してください。
- 電源コードのプラグは断路器として使用されるため、コンセントに容易にアクセスできる状態でご利用ください。
- コンセントはデバイスの近くのものをご利用ください。

テクニカルサポートやその他の情報に関しては、
https://www.tp-link.com/support/?type=smb
もしくはQRコードをスキャンのうえご覧ください。